

## 健康経営に関する取り組みと関連指標

### 1. 5つの健康指標（KPI）の取り組みと関連データ

定期健康診断受診率100%に向けた取り組み				
【取り組み】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の早期受診を促すため、未予約者に対して定期的なリマインドメールを送信するとともに、部門へ未予約者リストを連携し、受診勧奨を実施</li> <li>・予約キャンセルにより年度末までに受診を完了できない人が毎年いるため、2023年度は予約と受診締め切り日を前倒しする。未受診者に対しては次年度は早期に受診するよう個別に案内を実施するとともに、所属長からのサポートも依頼する</li> </ul>				
計測している指標	目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
定期健診受診率	100%	99.3%	99.2%	99.4%

要再検査・要精密検査等二次健診が必要な社員への受診勧奨				
【取り組み】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次健診は初回のみ就業時間内受診を認め、費用補助を実施</li> <li>・二次健診未受診者には定期的なリマインドメールや人事部門による受診勧奨を実施</li> <li>・2022年度KPI 70%を達成。2023年度はKPIを80%と定め、未受診者を減らす取り組みを継続する</li> <li>・二次健診受診率向上に伴い、未治療者が減少。高血圧の人のコントロール率が5.7ポイント改善した</li> </ul>				
計測している指標	目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
二次健診受診率	70%以上	77.5%	71.0%	47.7%
血圧リスク者率※1	0%	0.4%	0.5%	0.7%
糖尿病管理不良者率※2	0%	1.4%	1.4%	1.7%
高血圧者のうち治療中率※3	85%以上	86.6%	80.9%	84.7%
高血圧のうちコントロール率※4	73.0%	63.8%	58.1%	56.7%

※1：収縮期血圧 180 mmHg以上または拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合（40歳未満含む）  
 ※2：HbA1cが8.0%以上の人の割合  
 ※3：高血圧治療中者/(高血圧治療中者+高血圧未治療者：収縮期血圧160以上または拡張期血圧100以上)（40歳未満含む）  
 ※4：高血圧治療中で収縮期血圧140未満かつ拡張期血圧90未満の者/(高血圧治療中者+高血圧未治療者：収縮期血圧160以上または拡張期血圧100以上)（40歳未満含む）  
 ※5：2023年度目標値は80%以上に設定している。

特定保健指導実施率向上のための取り組み				
【取り組み】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施対象者を部門長へ連携し、受診推進を実施。就業時間内に実施可能な環境を整えている</li> </ul>				
計測している指標	目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
特定保健指導実施率※1	55%以上	70.2%	70.9%	31.2%

※1：母数はアクサ生命基準で集計

### 喫煙率低下のための取り組み

【取り組み】

- ・就業規則で就業時間内禁煙と定めている
- ・喫煙者に対しては健康保険組合による各種禁煙サポートプログラムを提供
- ・非喫煙者に対してインセンティブ付与を実施

計測している指標	目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
喫煙率	20%以下	25.7%	26.1%	27.1%

### ストレスチェック受検推進のための取り組み

【取り組み】

- ・未受検者に対して定期的なリマインドメール送信と、人事部門を通じての受診勧奨を実施

計測している指標	目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
ストレスチェック受検率	90.0%以上	97.3%	96.7%	93.9%

## 2. 重点課題に対する取り組みと関連データ

「運動」「食事」「メンタルヘルス」「がん対策」の4本の柱を軸に、さまざまな取り組みを行っている。

### 運動習慣改善のための取り組み

【取り組み】

- ・毎月実施しているオンラインセミナーの冒頭に定期的に行える運動やマッサージ方法のレクチャーを実施
- ・健康アプリを活用したウォーキングイベントを健康保険組合と協働開催

目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
運動習慣ありと回答※ 1	前年比改善	57.0%	56.0%	52.0%
運動習慣者比率※ 2	前年比改善	25.3%	24.5%	21.0%
適正体重維持率※ 3	65.0%以上	63.2%	63.7%	63.5%

※ 1：従業員健康習慣アンケートの運動習慣に関する設問で「維持期」「行動期」の割合の合計値（40歳未満含む）

※ 2：特定健診問診票で1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している人の割合（40歳以上）

※ 3：BMIが18.5～25未満の人の割合(40歳未満含む)

## 食習慣改善のための取り組み

### 【取り組み】

- ・毎月実施しているオンラインセミナーで食事に関するコンテンツを実施
- ・社内コンビニと連携をして、産業医や保健師監修のおすすめ健康メニューを作成し、コンビニ内と社内イントラに掲示している
- ・栄養士監修の食事アプリ(あすけんプレミアム)を無料で利用可能な環境を整えている

目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
食習慣に気を付けている人の割合※1	前年比改善	72%	72%	66%
「最初に野菜を摂取し、よく噛んで食べることを実施しているか」※2	前年比改善	59%	58%	55%

※1：従業員健康習慣アンケートの食習慣に関する設問で「維持期」「行動期」の割合の合計値（40歳未満含む）

※2：従業員健康習慣アンケートの上記設問で「いつもそうしている」「よくそうしている」の割合の合計値（40歳未満含む）

## メンタルヘルスに関する取り組み

### 【取り組み】

- ・社内相談窓口として産業医や保健師、社内カウンセラーが対応可能な環境を整えている
- ・メンタルヘルスオンラインセミナーやe-learningを実施

目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
高ストレス者比率	10.0%	13.7%	12.9%	11.5%
セルフケア研修参加率	100%	91.9%	89.4%	93.8%
ラインケア研修参加率	100%	85.8%	83.0%	83.9%

## がん対策に関する取り組み

### 【取り組み】

- ・定期健康診断の検査項目にがん項目を含め、就業時間内に自己負担なしで受診可能な環境を整えている
- ・胃がん検診は実施可能な医療機関であれば自己負担なしで胃内視鏡検査を受診することが可能となっている
- ・がん検診の重要性を理解するためのオンラインセミナーや衛生委員会資料等で情報提供を実施している

計測している指標	目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
胃がん検診受診率※1	前年比改善	86.5%	87.0%	80.3%
大腸がん検診受診率※2	前年比改善	93.4%	93.7%	91.0%
乳がん検診受診率※3	前年比改善	89.6%	90.5%	87.7%
子宮がん検診受診率※4	前年比改善	78.2%	81.0%	75.3%

※1、※2：35歳以上対象

※3：35歳以上女性対象

※4：20歳以上女性対象

## 女性の健康に関する取り組み

### 【取り組み】

- ・毎月実施しているオンラインセミナーに女性特有の疾患に関するテーマを取り上げ、専門医による講話を実施
- ・ヘルスリテラシー向上のため、全従業員を対象としたe-learningを実施

目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
e-learning実施率	前年比改善	92.6%	-	-

【測定人数および回答率（2022年度）】

全従業員8288人を対象に実施。回答者数7673人（回答率92.6%）

## 3. 社員の生産性向上、意識・行動変容に関する指標

### パフォーマンスに関する指標

目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
アブセンティーズム	3日以下	3.8日	3.0日	3.5日
プレゼンティーズム	20%以下	28.0%	26.0%	31.0%
ワーク・エンゲジジメント	3点以上	2.8点	2.9点	2.9点

【測定方法】

アブセンティーズム：傷病による平均欠勤日数

プレゼンティーズム：東京大学1項目版による生産性低下率

ワーク・エンゲジジメント：新職業性ストレス簡易調査票のワーク・エンゲジジメントに関する設問（2項目）によるスコア

【測定人数および回答率（2022年度）】

アブセンティーズム：全従業員（8409人）を対象に実施。回答者数7434人（回答率88.4%）

プレゼンティーズム：全従業員（8409人）を対象に実施。回答者数7434人（回答率88.4%）

ワーク・エンゲジジメント：全従業員（7889人）を対象に実施。回答者数7677人（回答率97.3%）

### 社員の意識・行動変容に関する指標

目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
健康習慣アンケート実施率	前年比改善	92.0%	94.0%	92.0%
健康通信の認知度※1	前年比改善	98.0%	98.3%	97.8%

※1：アクサ・ウェルネス・プログラム従業員アンケートの「Dr.かっきーの健康通信を知っているか」の設問で「知っている」と答えた人の割合

#### 4. 就業関連

就業に関する指標				
目標指標	2025年度 目標値	実績値		
		2022年度	2021年度	2020年度
主観的健康観※1 ※2	50.0%	46.0%	47.0%	47.0%
傷病による休職者数	-	164人	160人	143人
平均勤続年数（内勤社員）	-	13.8年	12.9年	13.5年
仕事満足度※1	3.0点	2.8点	2.9点	2.8点
時間外労働時間（月平均）	前年比改善	13時間	13時間	13時間
有給休暇取得率	前年比改善	58%	48.0%	48.0%

※1：社員アンケート調査によるスコア

※2：会社の同僚や友人に比べて生活習慣を気を付けている方だと思いますか？（「とてもそう思う」+「そう思う」と回答した者の割合）

#### 5. 労働安全衛生関連

労働安全衛生に関する指標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社ならびに50名以上の各事業所において衛生委員会を毎月実施し、議事録を作成、社内イントラに掲載している</li> <li>・50名未満の事業所においても衛生推進者を定め、4半期に1回衛生懇談会を実施している</li> <li>・業務上や通勤途上の災害申請の内訳としては転倒が半数を占める。申請件数や申請内容について衛生委員会資料に掲載し、従業員へ注意喚起を実施している。</li> </ul>			
	2022年度	2021年度	2020年度
労働災害発生件数(集計期間：1月～12月)	75件	77件	89件

## 6. 健康経営施策

「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というアクサ生命のパーパス（存在意義）を体現するためには、全従業員が健康に対して高い意識をもち、生き活きと働いてパフォーマンスを発揮できることが不可欠であると考えています。

アクサ生命では毎年実施している「健康習慣アンケート結果」より、プレゼンティーズムの分析を実施。生活習慣・疾病・メンタルヘルスの3つの健康リスクから運動習慣、睡眠、主観的健康観などの9つの項目を指標とし該当個数に応じて、従業員を3つのリスク層（高・中・低）に分類。各リスク層ごとに、生産性の目標指標としているプレゼンティーズムによる生産性低下率を測定することで、9つの指標と生産性低下率との関係を定量的に検証しています。

### メンタルヘルスの取り組み

#### （課題）

高ストレス者比率が例年平均13%前後で推移している状況であり、従業員がパフォーマンスを十分に発揮するためにもメンタルヘルス対策を実施し、メンタル不調・疾患を防止することが不可欠である。また、メンタルヘルス体制および窓口の強化、相談しやすい環境の整備、定期的なメンタルヘルス研修の実施を行う。

#### （施策実施・結果）

ストレスチェック受検率は2022年は97.3%に改善(2021年96.7%)。2022年は産業医・保健師・カウンセラー面談、社外相談窓口への相談件数が前年の1.5倍に増加した。

#### （効果検証）

高ストレス者比率は1ポイント改善したが、女性については改善が見られなかった。女性のストレスの理由として、ライフイベント等による女性の健康課題に影響があると考えられるため、全従業員を対象とした女性の健康研修の実施を通じて女性が働きやすい職場環境づくりを行うとともに、カウンセラーの増員やヘルスクアサービスの導入を図ることとした。

### 運動習慣改善への取り組み

#### （課題）

2021年の従業員健康習慣アンケートにおいて、運動習慣における維持期の割合が2020年37%から2021年27%と大きく下がった。コロナ禍以降運動の習慣が途切れたり、在宅での勤務も増えたことから、肩こりや腰痛などの対策も含め、運動不足解消・運動習慣化のための取り組みが必要である。

#### （施策実施・結果）

毎月開催の健康教育にて必ず運動やストレッチやマッサージのコンテンツを組み入れた。健康教育の案内の回数を増やしたことで、1回あたりの参加数は前年比2倍に増加した。

#### （効果検証）

2022年従業員アンケートでは運動習慣における維持期の割合は46%へ改善、コロナ禍以前2019年の37%と比べても大きく改善した。複数の施策が効果的であったとともに、従業員が気軽に取り入れられる内容であること、常に効果検証を行い、従業員が取り組みやすいような施策を実施、繰り返しの働きかけが意識と行動変容に結びついたものと考えている。

健康経営の最終指標であるプレゼンティーズムにおける生産性低下率は、2022年は28%と2020年実施と比較すると改善しているものの、まだ横ばいの状況です。健康経営によって目指す従業員のパフォーマンスの向上に結びつこうに引き続き取り組みを推進してまいります。

「健康経営アクサ式」を提供しているアクサ生命では、定期的に社内向けにもライフプランセミナー実施など、従業員一人ひとりが人生100年時代を人生を経営する視点をもって幸せに過ごしていけるよう、社内と社外の取り組みを連携して進めています。